

品質工学講演会

— 製品開発 MBD と品質工学 —

主 催 浜松品質工学研究会

近年、製造業には企画力、開発力の強化とコスト低減、そして何よりも高いレベルでの品質の確保が強く求められます。タグチメソッドとも呼ばれる品質工学は、このようなニーズに応える技術的な手法です。浜松品質工学研究会は、品質工学の一層の理解と普及の活動を実施しています。

今回は、サワダ技研株式会社 沢田龍作氏をお招きして、初心者にもわかりやすくモデルベース開発(MBD)と品質工学の考え方を解説していただきます。

- 日 時 令和5年3月24日(金) 13:30~15:30
- 会 場 オンライン (webex を使用、セミナーの URL、ID、パスワードは後日メールします)
- 講 演 「製品開発 MBD と品質工学」
- 講 師 サワダ技研株式会社 沢田龍作氏

『MBDは2000年頃、複雑化・高度化した自動車制御システム開発において、CAEツールによって制御装置と制御対象の機能をモデル化することで、実車適合での手戻り削減による開発効率向上と、網羅的テストによる市場品質確保を狙いとして自動車OEMを中心に展開された。しかし、ハードありきの制御装置開発であり、ハードの機能のロバスト性がない場合、フィードバック制御で機能の安定性を確保することは可能であるが、市場環境や使用条件の外乱誤差因子が膨大であるため、制御のみに頼ることは、非常に非効率である。そこで、ハードそのものをロバストにし、特性を一様化することで制御装置開発の効率化を図るべく、モデルベース開発上流の構想設計段階で品質工学を活用し、ハード機能のロバスト設計を行うべきと提案(2019年、品質工学発表会特別講演)。その後の実用化事例はないが、今回、MBDと品質工学を融合させた開発上流の構想設計のコンセプトを紹介する。』

- 申込方法 3月17日(金)までに、受講申込書に記載の上、メールでお申し込みください。
- 定 員 100名 (先着順:定員を超えた場合のみ、ご連絡いたします)
- 参加費 無料
- 問合せ先 浜松工業技術支援センター 繊維高分子材料科 針幸
TEL 053-428-4155 FAX 053-428-4160 E-mail : tatsuya1.hariko@pref.shizuoka.lg.jp

品質工学講演会 受講申込書

浜松工業技術支援センター 繊維高分子材料 (針幸) 行

会社名		
所属部署	受講者氏名	メールアドレス